

## 水槽におけるマツカワ人工種苗の被捕食

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡辺, 研一, 中川, 亨, 今村, 茂生 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014446">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014446</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



#### 水槽におけるマツカワ人工種苗の被捕食

渡辺研一・中川 亨・今村茂生

種苗生産された平均全長 40, 55, 80, 110 mm のマツカワ人工種苗を使用して、放流を行っている厚岸湾に生息する 6 種の魚類エゾアイナメ、スジアイナメ、シモフリカジカ、オクカジカ、ナガガジ、ムロランギンボによる捕食試験を実施した。マツカワは平均全長 40~110 mm で捕食を受けることが確認され、シモフリカジカとエゾアイナメが主要な捕食魚と考えられた。現在放流している全長 80 mm 以上では体色の違いによる捕食され易さに差はなかったが、全長 55 mm 以下では体色異常個体の方が捕食されやすかった。今後、被捕食に及ぼす諸条件をさらに解明し、これを防除するための技術開発が必要である。

栽培技研, 24(1), 27-33, 1995